

NEWS News News

◇図書館システムを更新しました

附属図書館ではこのたび、図書館システムを更新しました。図書、雑誌所蔵検索である OPAC の画面がリニューアルしました。また、今までの MyLibrary が MyOPAC と名前を変え、図書館と利用者の皆様をつなぐ Web の窓口になりました。MyOPAC では、所蔵検索はもちろん、文献複写の申し込み、貸出状況の照会などができます。

開館カレンダーを確認できるほか、ブックマークの登録ができるので、よく利用されるデータベースや検索サイトを登録しておく便利です。

お知らせ

◇大森文庫ミニ展示を開催しています

「大森文庫」は、江戸時代から島根県安来市で医家を開業しておられた大森家より、当館へ寄贈していただいた史料を集めたものです。

大森文庫には古文書のほかに掛軸も収蔵されています。これらは江戸時代後期に作製されたもので、劣化等で傷みが出ていました。このほどこの掛軸10幅につき、修復し表装し直しました。また、実物大で撮影し、画像データを作成しました。これにより、実物を使わずに作品の展示が可能となりました。

「大森家医業の祖」である大森不明堂三楽(1771-1857)は、絵の才能に恵まれていて、子供のころから絵の修業をしていましたが、画家にはならず、京都で医学修業を行い、地元の安来で医家を開業しました。

天保 4(1833)年、63 才で医業を婿養子三益に任せ、華岡家の医塾大坂「合水堂」に入門、翌天保 5(1834)年には紀州平山の「春林軒」へ入門し、華岡青洲・華岡南洋の手術や診察を本格的に学び、帰国しました。



67 才の時、藩医ではなく、「母里藩心学教訓」を仰せ付きり、藩士として登用されました。

不明堂三楽は、医書を読む傍ら、多くの書物を読み、日常を日記に記録し、人々の生き方や心構えをわかりやすい教訓や絵にしました。

今回、在村の医者と母里藩心学教訓を兼務した不明堂三楽の画人的素養に焦点をあて、不明堂三楽が描いた掛軸等の展示を開催しています。医学分館前廊下の壁を利用した展示コーナーです。

皆様のお越しをお待ちしています。



発行日 2010(平成 22)年 2 月 25 日

発行者 島根大学附属図書館医学分館

編集委員 大瀧博久

〒693-8501 出雲市塩冶町 89-1

TEL:0853-20-2004

FAX:0853-20-2095